

## 第9回鳥取支部学術集会

学術集會会長：鳥取生協病院院長 齋藤 基



会場風景

鳥取支部では2012年9月22日(土)、とりぎん文化会館(鳥取市)にて、「医療安全に向けてのチームの働き」をテーマに掲げ、「第9回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会」を開催しました。当日は特別講演1題、ランチョンセミナー1題、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題(口演)23題、一般演題(ポスター)34題、クリティカルパス展示2題について活発な討論が行われました。

特別講演は『医療事故・真実説明指針とは～本当のことをどう話せばいいのか～』の題目で、真実説明・謝罪普及プロジェクト・チームリーダーの埴岡健一先生を講師にお迎えしました。患者主体の医療を行う立場で真実を伝えること、間違いを起こしてしまった場合はすぐに謝罪し、また、間違いではなくても伝えにくい事(悪い知らせ)もしっかりと伝え、共に病気に向かっていく姿勢を示すことが大切であることを学びました。

特別講演は『医療事故・真実説明指針とは～本当のことをどう話せばいいのか～』の題目で、真実説明・謝罪普及プロジェクト・チームリーダーの埴岡健一先生を講師にお迎えしました。患者主体の医療を行う立場で真実を伝えること、間違いを起こしてしまった場合はすぐに謝罪し、また、間違いではなくても伝えにくい事(悪い知らせ)もしっかりと伝え、共に病気に向かっていく姿勢を示すことが大切であることを学びました。

当日は220名の参加者があり、盛況のうちに幕を閉じました。

## 第6回三重支部学術集会

学術集會会長：松阪中央総合病院院長 玉置久雄



会場風景

2012年9月29日(土)、国立病院機構三重中央医療センター、研修棟会議室において第6回日本医療マネジメント学会三重支部学術集会が開催されました。今回は「三重の地域医療連携、ここが知りたい」をメインテーマに松阪中央総合病院、玉置久雄先生を学術集會会長として開催されました。学術集會には県内の主だった病院から76名が参加し、一般演題では13題の発表があり電子カルテにおける医療安全への応用や会員病院における感染コントロールの取り組み等が紹介され活発な討論が行われました。特別講演として国立病院機構熊本医療センター副院長の野村一俊先生による「維持期における地域連携クリティカルパス」の御講演があり、参加者は地域医療の連携におけるクリティカルパスの有用性と運用への働

きかけの重要性を実感しました。最後に本会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

きかけの重要性を実感しました。最後に本会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

## 第11回岡山県支部学術集会

学術集會会長：国立病院機構岡山市立金川病院院長 大森信彦



会場風景

2012年9月29日(土)に、国立病院機構岡山医療センターを会場として、『地域の人と共に生きる医療』のテーマで開催いたしました。特別基調講演に、公立みつぎ総合病院名誉院長の山口 昇先生、特別講演に(株)メッセージ会長の橋本俊明先生をお招きし、計39演題、約260名の参加者を得て、活発な意見交換がなされました。2025年問題に向けた地域包括ケアシステムのありかたや、住まいと介護を分離したレジデンスケアという考え方に対する理解が深まっただけでなく、中小規模の地域密着型の病院の経営戦略などについて、最前線で日々戦っておられる演者の皆さんのご発表は迫りに満ち、時間が足りないことが悔やまれました。また、今回特筆すべきは、従来、この学術集會に参加したことのなかったというような地域や病院の方々の参加も少なからずあったことです。再来年の学術総会主催に向け、学会のすそ野が少しずつ広がっているのを感じます。これからも、さらに多くの方々に学会員となっていただけるよう、いろいろ工夫を重ねていきたいものです。次回は、2013年2月3日(日)に、岡山済生会総合病院主催で第12回学術集會が予定されています。

再来年の学術総会主催に向け、学会のすそ野が少しずつ広がっているのを感じます。これからも、さらに多くの方々に学会員となっていただけるよう、いろいろ工夫を重ねていきたいものです。次回は、2013年2月3日(日)に、岡山済生会総合病院主催で第12回学術集會が予定されています。

## 第11回島根支部学術集会

学術集會会長：総合病院松江生協病院院長 高濱顕弘



会場風景

2012年9月29日(土)松江市のくにびきメッセにおいて、日本医療マネジメント学会第11回島根支部学術集會を開催し、24施設から357名の参加をいただきました。千年に

一度の、未曾有の、想定外の等、形容される東日本大震災そして福島第一原子力発電所事故から1年半にあたり、メインテーマを「大規模災害時における地域医療連携」と致しました。